

## あ と が き

核データの編集委員をやっていると、色々な人に原稿をお願いするのであるが、快く引き受けていただける事が多い。原稿を書いたからといって、原稿料をもらえることも無いのだから、全くのボランティアと言える。しかし核データニュースも数百部発行しているし、Web でも公開されているわけだから、多少のアピールにはなるだろう。核データニュースはこれらのボランティアベースで書かれた原稿で成り立っている。編集者としてはありがたいことであり、原稿をお願いして引き受けていただいた方々には感謝している。編集者の一人である私も同じように原稿を依頼があることがあり、その時は極力協力したいと考え依頼を受けるのであるが、小学校の頃より作文が大の苦手であった私はこのあとがきのような、ちょっとした文章を書くのも苦勞するのである。苦勞して駄文を作り、編集長の寛大さもあって、その駄文が掲載されるのであるが、そのような駄文は読者に読み飛ばしてもらおうか、大きな寛容さを持って読んでもらうことを期待するしかない。

今年度原子力2法人統合があり、核データニュースの将来もはっきりしないが、核データニュースが存続する場合は、また原稿をお願いすることもあると思うのでよろしくお願いします。

岩本 修

[iwamoto@ndc.tokai.jaeri.go.jp](mailto:iwamoto@ndc.tokai.jaeri.go.jp)

### 核データニュース編集委員会

中川庸雄（委員長、原研）、井頭政之（東工大）、岩本 修（原研）、長谷川明（原研）、  
山野直樹（東工大）、吉田 正（武蔵工大）、[オブザーバ] 喜多尾憲助、[編集] 石橋貞子